

発言No. 16

受付No. 7

令和7年6月11日

10時 25分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 14 番 氏名 布施 賢司

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 国の天然記念物、石見畳ヶ浦の諸問題について

- ① これまでの観光地としての整備状況について問う。
- ② 市道「めがね橋」の塩害や老朽化による通行止めの対処について問う。

2 振り込め詐欺の対処方法について

- ① 島根県内で特殊詐欺が多く発生する中、特殊詐欺の未然防止に貢献しているコンビニエンスストアの方に感謝状が贈られたとの報道がある。これだけ報道されても高齢者をターゲットにした特殊詐欺は毎日のように起こる。浜田市もその事案が多くあると聞くが、その特殊詐欺被害を防ぐため、金融機関のATM前で高齢者がスマートフォンなどの通話を禁止したり、コンビニに防止措置を義務付ける条例を県に働きかけてはどうかと思うが所見を問う。

3 地域井戸端会で市民の声から感じた問題点や提案について

(1) 定住対策問題について

- ① 近年の空き家バンク登録物件数と入居率について問う。
- ② 空き家バンクの活用促進事業補助金の申請者数と改修事業補助金の申請者数を問う。
- ③ 一定の地区でまだ登録していない空き家を、U・Iターン者用に「お試し居住」が出来るように改修して実際に住んでもらう地域再生型モデルの空き家対策も必要との意見があったが所見を問う。
- ④ 空き家の魅力発信に生成AIを活用する動きが全国で始まっているが、画像生成AIを活用して空き家のリノベーションを「見える化」する、新しい空き家バンクのサイト構築に浜田市も取り組むべきだと提案をするが所見を問う。

(2) 敬老福祉乗車券交付事業について

- ① 敬老福祉乗車券交付事業が始まって数年経過するが、対象者である70歳以上の住民

や障がい者の申請率と使用率を問う。

- ② 運転免許自主返納等支援事業について1冊3,000円分の乗車券5冊の無料交付であるが、夫婦で免許を持っていて一方が免許返納しても、夫婦で出掛けて用事を済ませることがある世帯においては、無料交付が無駄になるとの意見があった。自主返納者には乗車券とは別に、浜田の共通商品券等を選択できるようにとの要望があったが所見を問う。

(3) 特定健診問題について

- ① 健康寿命を延伸するため特定健診を受けることが大事である。依然、受診率が悪いようだが、近年の特定健康診査受診率を問う。
- ② 命に関わる大変良い制度なのに、なぜ受診率が増えないのか所見を問う。
- ③ 受診率を増やすための未受診者への受診勧奨の効果について問う。

(4) 病病連携について

- ① 浜田圏域である浜田市（医療センター）と江津市（済生会病院）は、円滑に治療やケアを継続するための病病連携はできているのか問う。
- ② それぞれの診療科偏在の現状と問題点を問う。
- ③ 圏域が違う益田赤十字病院と医療センターとの連携はどうなのか問う。

一般質問発言通告書

議席番号 3 番 氏名 大谷 学

答弁を求める者
(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 新型コロナウイルス感染症対応の教訓と現状について

(1) 次なる感染症への備えとしての「事務報告」について

- ① 令和6年6月の定例会議における個人一般質問において、鳥取県が「新型コロナウイルス感染症対策検証報告書」を作成したことを踏まえ、鳥取県のようにこの歴史的な経験を記録として後世の人々に役立ててもらえるように検証報告書にまとめておく必要があると提案したところ、「検証報告書は考えていないが、事務報告等で記録を残してまいります」との答弁であった。どのような内容で残そうとしているのか状況を伺う。

(2) 令和7年の感染状況について

- ① 市中における感染状況について伺う。

(3) 令和6年6月以降の相談体制について

- ① コロナ後遺症（ワクチン後遺症）等の相談状況について伺う。

2. 文化を醸成する図書館について

(1) 図書館事業としての研究会や資料展示会等の主催について

浜田市立図書館条例第3条第6号において、図書館が行う事業として「読書会、研究会、鑑賞会、映写会、資料展示会等」と掲げられている。

- ① 研究会の主催状況について伺う。
② 資料展示会的主催状況について伺う。

(2) 館内利用者の迷惑を及ぼす行為について

浜田市立図書館条例施行規則によると、館内利用者等の遵守事項の中に「迷惑を及ぼす行為をしないこと」とある。

- ① 具体的にはどのような行為を想定しているのか、その認識を伺う。

(3) 誰もが利用しやすい館内の雰囲気について

- ① 年間の年代別利用状況について伺う。
② 乳幼児を伴う親子や若年層の利用促進に向けての方策を伺う。

3. ふるさとの誇らしき景観の保全について

(1) 浜田城の石垣の現状について

- ① 木の根による影響が心配されるが、管理等はどのような状況にあるかを伺う。
② 地震等で崩れると修復に多額の経費が必要となる。予防のための補強の必要性に対する認識を伺う。

(2) 太陽光発電等の開発事業を行うときの関係条例について

- ① 地域の景観保全と秩序ある開発を指導監督するための根拠となる法律や条例にはどのようなものがあるかを伺う。

発言No. 18

受付No. 15

令和7年6月12日

10時18分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 16番

氏名 芦谷英夫

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1、市政の推進態勢について

- ① 市長は行政連絡員会議、地域協議会、地域の日、連合自治協議会との協議などに出席し、そこでは市政推進に対する意見、地域の要望などが出されるが、それをどのように受け止め、どう市政推進につなげてきたのか。
- ② 市民から市長直行便が寄せられ、市民の生活、市の政策、政治的なことなどがあると思うが、それらに対する市長の考えはどうか。

2、浜田市の元気づくりについて

- ① 市の元気づくりには人出を増やし、消費を拡大することが重要であり、産業振興の基本は外貨を稼ぐこと、とされているが、県の統計では、織物・衣服・身の回り品、飲食料品などの年間商品販売額は、浜田市は県内8市、石見4市の中ではどのような状況、位置にあるのか。
- ② 石見神楽、特産品や食、アクアスと海、歴史や文化など、具体的な観光商品化を進める、民間事業者の支援、行政の体制づくりなどもっと力を入れる必要があるのではないか。

3、定住施策の推進について

- ① ここ10年間で誘致した事業所、企業数などはいくつあって、その数の推移と働く人の推移はどのようになっているのか。
- ② ここ10年間で地域おこし協力隊は、何人任命し、現在でも浜田市に在住している人は何人おられ、定住は進んでいるのか。

4、市民の健康づくりについて

- ① 国民健康保険の特定健診の受診率、要特定保健指導者数及び率、その終了者数及び率はどのようになっている、その推移からみて健康づくり施策の成果は上がっているのか。
- ② 地域で健康づくりに取り組めるよう、まちづくり推進委員会の事業に位置付け、まちづくりセンターなどで、地域が主体となって健康づくりに取り組む体制づくりが必要ではないか。

5、高齢者の生活支援、介護サービスの充実について

- ① 生活支援体制整備事業のサービスを受けた方の推移はどうなっているのか、直営になって充実してきているのか。
- ② 訪問入浴介護サービスの利用が断られるとの市民からの声が寄せられているが、実情はどのようになっているのか。
- ③ 介護事業所から介護人材が不足しているとの声が寄せられているが、市として不足している人数をどのように把握しているのか。

6、協働のまちづくりの推進について

- ① 町内会加入率は、新聞報道によると令和5年度84・1%とあるが、5年度以前の加入率は、経年的にどのように推移してきたのか。
- ② 協働のまちづくり推進は、連合自治会、地区社会福祉協議会、自主防災組織などが個別にあるのではなく、まちづくり推進委員会に収れんさせる、あるいは関連づけるなどが必要であるが、協働のまちづくりを進める市が責任をもって、市が一体となってその推進体制をつくる必要があるのではないか。

—以上—

発言No.

19

受付No. 9

令和 7 年 6 月 12 日
9 時 11 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 7 番

氏名 村武 まゆみ

答弁を求める者

(○をつける)

員長

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委

発言項目及び要旨

1. 不登校児童について

- ① 先日、総務文教委員会の意見交換において、平成 26 年度から令和 6 年度の小中学校の不登校数の推移について確認をした。過去の数字を見ると不登校数は年によって増減をしているが、令和 6 年度において、小学校は全体の児童数 2,279 人中 75 人で割合は 3.29%。中学校は全体の生徒数 1,219 人中 98 人で割合は 8.04%で、不登校児童生徒数の割合が平成 26 年度以降過去最高となっている。その結果についてどのように受け止めているか伺う。
- ② 不登校児童生徒が急増したことへの対策についてどのように考えているか伺う。

2. 協働のまちづくりについて

(1) 協働のまちづくりの推進について

- ① 浜田市では令和 3 年 4 月に「浜田市協働のまちづくり推進条例」が施行され、令和 4 年 2 月に「浜田市協働のまちづくり推進計画」が策定された。計画期間の令和 4 年度から令和 7 年度の間、毎年度評価・検証をしていくこととしている。直近の評価・検証の結果を伺う。

(2) まちづくりセンターについて

- ① 協働のまちづくりが始まり、公民館がまちづくりセンターになった。以前の公民館では社会教育・生涯学習の拠点であり、まちづくりセンターになり社会教育の手法による人づくりを土台としたまちづくりを進めていくことになった。まちづくりセンターになり、まちづくり委員会推進との連携サポートなど、まちづくりの活動は進んできていると感じるが、以前の公民館時代に比べ社会教育・生涯学習が希薄になっていると感じるが所見を伺う。

3. がん対策について

- ① 浜田市内のがんサロンに参加される方々からや、先月浜田市議会で実施した地域井戸端会において、浜田医療センターで実施している PET-CT がん検診について意見を伺った。浜田医療センターにおける来年度以降の PET-CT 機器の更新について、現在の方針の状況を伺う。
- ② 浜田市で実施しているがん検診は無料で実施されており、他市に比べ手厚い支援となっているが、がん検診の受診数について伺う。
- ③ がん検診で異常が発見されて、がんと診断された人数について伺う。
- ④ がんサロンへの支援について伺う。

以上

一般質問発言通告書

議席番号 17番

氏名 永見 利久

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1、高齢者等の買い物支援について

(1)見守り移動販売について

高齢者等の買い物困難者の安定した日常生活の実現、見守りや安否確認を目的とした、自宅訪問の移動販売の取組に対しての経費補助がされている。地域井戸端会で、この取組について意見や要望を伺った。

- ① 中山間地域高齢者等の買い物困難者に対して、安否確認を目的とした移動販売の取組地域と状況について伺う。
- ② 市内高齢者の安否確認を兼ねた買い物支援の状況について伺う。

2、防災対策の取組について

(1)浜田市総合防災訓練について

6月1日に、市内各地域において、自主防災組織及び町内会の主体で、水害・土砂災害を想定しての避難訓練を実施され、多くの市民が参加された。

- ① 「高齢者等避難」等の無線放送を受けての避難行動訓練の参加者の状況について伺う。
- ② 自主防災組織及び町内会の避難所への避難訓練状況について伺う。
- ③ 自主防災組織及び町内会を対象とした防災出前講座の開催状況について伺う。
- ④ 今年度の総合防災訓練の成果についての認識を伺う。

(2)保育園、幼稚園、小中学校での避難訓練について

地域井戸端会において、保育園、幼稚園の避難訓練について意見があった。

- ① 市内各地域での保育園、幼稚園、小中学校での避難訓練の取組について伺う。

(3)避難所看板設置事業について

市内各地域の避難場所が、どの災害種別に適しているかを市民に日頃から周知し、災害時に適切な避難場所へ避難できる看板設置について質問をする。

- ① 今年も梅雨に入り、豪雨災害等の発生が想定される。避難所看板設置事業の進捗状況について伺う。

(4)防災行政無線放送について

防災行政無線、各地域において、災害時や行政からのお知らせ、催しの案内等が実施され、住民の方々も活用されてきた。最近は放送内容が少し以前とは異なってきている。

- ① 各地域における、行政放送の実施内容について伺う。
- ② 各地域における火災放送が行われなくなった。火災発生時の関係地域に対する情報提供についての考えを伺う。

3、若者支援ファンド事業について

市内に住む若者が「住んでよかった」を感じられる取組を行うことで、「若者が暮らしやすいまちづくり」に繋げ、若者世代の定住及び人口社会減の緩和が期待でき、令和 5 年度・令和 6 年度と 2 か年で取り組んでこられ、令和 7 年度も引き続き取り組まれる。この事業の取組内容として「移住・定住人口の創出」、「仕事の創出」、「住まいの創出」、「若者世代の支援」にそれぞれ整備や支援が行われている。

- ① 若者世代の定住の成果について伺う
- ② 人口社会減の緩和の成果について伺う。